



## 2022年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年5月12日

上場会社名 株式会社ツガミ 上場取引所 東  
 コード番号 6101 URL <https://www.tsugami.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 西嶋 尚生  
 問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 百谷 淳一 TEL 03-3808-1711  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月22日 配当支払開始予定日 2022年5月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	93,174	51.1	18,860	97.8	18,776	98.5	12,620	90.2	9,486	92.9	17,849	63.7
2021年3月期	61,662	25.0	9,533	109.5	9,459	122.1	6,636	141.6	4,917	145.7	10,902	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	191.99	188.07	22.6	20.5	20.2
2021年3月期	95.21	93.08	13.9	13.4	15.5

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	103,761	57,840	45,580	43.9(55.7)	941.82
2021年3月期	79,278	46,836	38,229	48.2(59.1)	751.14

(参考) ( )内は、資本合計(親会社の所有者に帰属する持分+非支配持分)の比率であります。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	6,296	△3,009	△3,514	18,844
2021年3月期	6,784	1,432	△2,781	17,207

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00	1,334	27.3	3.8
2022年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00	1,951	20.8	4.7
2023年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00		22.4	

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,000	△0.4	9,500	△12.1	4,800	△11.8	99.43
通期	98,000	5.2	19,000	0.7	9,500	0.1	196.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2022年3月期	50,000,000株	2021年3月期	55,000,000株
2022年3月期	1,603,995株	2021年3月期	4,105,615株
2022年3月期	49,410,403株	2021年3月期	51,655,114株

(参考) 個別業績の概要

2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	35,584	74.7	2,185	—	4,800	206.1	4,287	12.5
2021年3月期	20,367	△21.5	109	△72.6	1,568	14.7	3,810	374.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	86.76	84.99
2021年3月期	73.78	72.13

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	38,508	18,358	46.3	368.72
2021年3月期	35,275	20,104	55.2	382.78

(参考) 自己資本 2022年3月期 17,844百万円 2021年3月期 19,481百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況②今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(連結損益計算書) .....	6
(連結包括利益計算書) .....	7
(3) 連結持分変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	15
4. 補足説明資料 .....	16
(1) 海外売上収益 .....	16
(2) 連結販売実績 .....	16
(3) 役員の変動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

当期における当社グループを取り巻く環境につきましては、海外市場の不確実性が増しておりますが、中国市場をはじめ各市場とも堅調に推移しました。

このような中、当社グループは自動車部品関連、IT関連等、幅広い業種向けの拡販に注力した結果、売上収益は93,174百万円(前期比51.1%増)、営業利益は18,860百万円(同97.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は9,486百万円(同92.9%増)と前期比増収増益となりました。

機種別の売上収益では、主力の自動旋盤は79,504百万円(前期比53.5%増)、研削盤は3,945百万円(同58.5%増)、マシニングセンタ・転造盤・専用機5,435百万円(同32.7%増)となりました。

セグメントごとの収益は次のとおりであります。

①日本につきましては、売上収益は35,662百万円(前期比75.0%増)、セグメント利益は2,146百万円(前期比686.2%増)となりました。

②中国につきましては、売上収益は77,707百万円(前期比58.0%増)、セグメント利益は15,862百万円(前期比84.8%増)となりました。

③インドにつきましては、売上収益は2,769百万円(前期比54.0%増)、セグメント利益は20百万円(前期比48.4%減)となりました。

④韓国につきましては、売上収益は1,856百万円(前期比16.5%増)、セグメント利益は173百万円(前期比94.7%増)となりました。

⑤その他につきましては、売上収益は783百万円(前期比86.4%増)、セグメント利益は3百万円(前期はセグメント損失48百万円)となりました。

セグメント利益は、売上収益から売上原価および販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

#### ② 今後の見通し

2023年3月期の通期業績予想につきましては、国内外の市場動向及び当社受注状況を踏まえ、下記のとおりいたしました。

- ・2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

単位：百万円

	第2四半期(累計)	通 期
売 上 収 益	49,000	98,000
営 業 利 益	9,500	19,000
親 会 社 の 所 有 者 に 帰 属 す る 当 期 利 益	4,800	9,500
基 本 的 1 株 当 たり 当 期 利 益	99.43	196.82

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債および資本の状況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて24,483百万円増加し、103,761百万円となりました。

これは主に、現金及び現金同等物が1,637百万円、営業債権及びその他の債権が7,186百万円、棚卸資産が11,843百万円、有形固定資産が2,382百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて13,478百万円増加し45,920百万円となりました。

これは主に、営業債務及びその他の債務が7,437百万円、借入金が3,734百万円、契約負債が1,260百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて11,004百万円増加し、57,840百万円となりました。

これは主に、親会社の所有者に帰属する当期利益により利益剰余金が9,486百万円、その他の資本の構成要素が3,669百万円、非支配持分が3,653百万円増加した一方、配当金の支払いにより1,599百万円、自己株式の取得等により4,209百万円減少したことによります。

なお、当連結会計年度において利益剰余金の取り崩しにより自己株式5,000千株、6,355百万円を消却しております。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比4.3%減少し、43.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比1,637百万円増加し、18,844百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、6,296百万円の増加(前連結会計年度は6,784百万円の増加)となりました。

これは主に、税引前利益18,776百万円、営業債務及びその他の債務の増加4,490百万円、減価償却費及び償却費1,815百万円により資金が増加した一方、棚卸資産の増加11,503百万円、法人所得税の支払6,044百万円、営業債権及びその他の債権の増加4,254百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、3,009百万円の減少(前連結会計年度は1,432百万円の増加)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得2,397百万円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は3,514百万円の減少(前連結会計年度は2,781百万円の減少)となりました。

これは主に、短期借入金の増加3,682百万円により資金が増加した一方、自己株式の取得4,316百万円、配当金の支払1,599百万円、非支配株主への配当金の支払1,039百万円により資金が減少したことによるものです。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは今後とも、時代の変化に対応した開発投資を積極的に行い、競争力の一層の強化、経営の効率化に引き続き取り組むことにより、企業グループの総合力を高め、株主の皆様へ利益還元を図ることが基本と考えております。従いまして、企業体質の強化を図るとともに、安定配当を確保すべくグループをあげて努力してまいります。

また、株主還元策の一環としての自己株式取得につきましては、機動的な資本政策の遂行を可能とすること等を目的として、その必要性、財務状況、株価動向等を総合的に判断いたしまして適切に対応してまいります。

2022年3月期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金18円、期末配当金22円の年間40円(4円増配)とさせていただきます。

また、2023年3月期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金22円、期末配当金22円の年間44円とさせていただきます予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2019年3月期より国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,207	18,844
営業債権及びその他の債権	20,428	27,614
その他の金融資産	30	30
棚卸資産	20,774	32,618
その他の流動資産	1,582	2,928
流動資産合計	60,023	82,036
非流動資産		
有形固定資産	11,808	14,191
使用权資産	1,302	1,915
無形資産	1,116	903
退職給付に係る資産	91	64
その他の金融資産	4,420	4,130
繰延税金資産	253	308
その他の非流動資産	261	210
非流動資産合計	19,254	21,724
資産合計	79,278	103,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	14,797	22,234
借入金	9,579	13,313
その他の金融負債	210	170
未払法人所得税等	1,332	1,390
引当金	384	585
契約負債	3,161	4,421
その他の流動負債	737	757
流動負債合計	30,204	42,873
非流動負債		
その他の金融負債	123	106
退職給付に係る負債	893	924
引当金	—	5
繰延税金負債	887	1,460
その他の非流動負債	333	550
非流動負債合計	2,237	3,046
負債合計	32,441	45,920
資本		
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	3,332	3,222
自己株式	△4,371	△2,040
その他の資本の構成要素	2,560	6,256
利益剰余金	24,362	25,795
親会社の所有者に帰属する持分合計	38,229	45,580
非支配持分	8,607	12,260
資本合計	46,836	57,840
負債及び資本合計	79,278	103,761

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上収益	61,662	93,174
売上原価	△44,457	△64,994
売上総利益	17,204	28,179
販売費及び一般管理費	△8,297	△10,223
その他の収益	670	3,019
その他の費用	△44	△2,114
営業利益	9,533	18,860
金融収益	339	328
金融費用	△413	△412
税引前利益	9,459	18,776
法人所得税費用	△2,822	△6,155
当期利益	6,636	12,620
当期利益の帰属		
親会社の所有者	4,917	9,486
非支配持分	1,718	3,134
当期利益	6,636	12,620
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	95.21	191.99
希薄化後1株当たり当期利益(円)	93.08	188.07



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期利益	6,636	12,620
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,459	△208
確定給付制度の再測定	11	△26
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,471	△235
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,795	5,463
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,795	5,463
その他の包括利益合計	4,266	5,228
当期包括利益	10,902	17,849
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,405	13,155
非支配持分	2,497	4,693
当期包括利益	10,902	17,849

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日時点の残高	12,345	3,306	△2,994	△1,535	2,574
当期利益					
その他の包括利益				2,016	1,459
当期包括利益合計	—	—	—	2,016	1,459
自己株式の取得			△1,495		
自己株式の処分		△57	119		
配当金					
株式報酬取引による増減		88			
利益剰余金への振替					△1,952
非支配持分との資本取引		△5		△1	
所有者との取引額合計	—	25	△1,376	△1	△1,952
2021年3月31日時点の残高	12,345	3,332	△4,371	478	2,081

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計			
	確定給付制度の再測定	合計					
2020年4月1日時点の残高	—	1,038	18,784	32,480	6,593	39,073	
当期利益		—	4,917	4,917	1,718	6,636	
その他の包括利益	11	3,487		3,487	779	4,266	
当期包括利益合計	11	3,487	4,917	8,405	2,497	10,902	
自己株式の取得		—		△1,495		△1,495	
自己株式の処分		—	△61	0		0	
配当金		—	△1,242	△1,242	△454	△1,697	
株式報酬取引による増減		—		88		88	
利益剰余金への振替	△11	△1,963	1,963	—		—	
非支配持分との資本取引		△1		△7	△28	△35	
所有者との取引額合計	△11	△1,965	659	△2,656	△483	△3,140	
2021年3月31日時点の残高	—	2,560	24,362	38,229	8,607	46,836	

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	12,345	3,332	△4,371	478	2,081
当期利益					
その他の包括利益				3,904	△208
当期包括利益合計	—	—	—	3,904	△208
自己株式の取得			△4,312		
自己株式の処分		△113	288		
自己株式の消却			6,355		
配当金					
株式報酬取引による増減		3			
利益剰余金への振替					
所有者との取引額合計	—	△109	2,331	—	—
2022年3月31日時点の残高	12,345	3,222	△2,040	4,383	1,872

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計			
	確定給付制度の再測定	合計					
2021年4月1日時点の残高	—	2,560	24,362	38,229	8,607	46,836	
当期利益		—	9,486	9,486	3,134	12,620	
その他の包括利益	△26	3,669		3,669	1,558	5,228	
当期包括利益合計	△26	3,669	9,486	13,155	4,693	17,849	
自己株式の取得		—		△4,312		△4,312	
自己株式の処分		—	△71	103		103	
自己株式の消却		—	△6,355	—		—	
配当金		—	△1,599	△1,599	△1,039	△2,639	
株式報酬取引による増減		—		3		3	
利益剰余金への振替	26	26	△26	—		—	
所有者との取引額合計	26	26	△8,052	△5,804	△1,039	△6,844	
2022年3月31日時点の残高	—	6,256	25,795	45,580	12,260	57,840	

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	9,459	18,776
減価償却費及び償却費	1,505	1,815
減損損失	—	156
災害損失	—	1,895
金融収益	△339	△328
金融費用	103	114
固定資産除却損	10	16
固定資産売却損益 (△は益)	△1	0
受取保険金	△57	△1,938
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,390	△11,503
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△7,046	△4,254
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,366	4,490
契約負債の増減額 (△は減少)	1,964	890
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△19	31
引当金の増減額 (△は減少)	△43	190
その他	△432	△1,132
小計	8,078	9,220
利息及び配当金の受取額	348	365
利息の支払額	△103	△114
補助金の受取額	392	980
助成金の受取額	121	—
保険金の受取額	57	1,938
災害損失の支払額	—	△56
法人所得税の支払額	△2,273	△6,044
法人所得税の還付額	163	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,784	6,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
有形固定資産の取得による支出	△2,311	△2,397
有形固定資産の売却による収入	2	41
有形固定資産の除却による支出	△7	—
無形資産の取得による支出	△228	△109
使用権資産の取得による支出	—	△538
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	3,888	—
補助金の受取額	81	—
その他	9	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,432	△3,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	712	3,682
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△35	—
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1,497	△4,316
配当金の支払額	△1,242	△1,599
非支配株主への配当金の支払額	△454	△1,039
リース負債の返済による支出	△263	△241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,781	△3,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	849	1,864
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,285	1,637
現金及び現金同等物の期首残高	10,921	17,207
現金及び現金同等物の期末残高	17,207	18,844

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の事業セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、事業セグメントの集約は行っていません。

当社グループは、国内外で工作機械の製造及び販売を行っております。製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「インド」、「韓国」、および「その他」の各グループ会社の所在地を報告セグメントとしております。

(2) セグメント収益及び業績

セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	中国	インド	韓国	その他	計		
売上収益								
外部収益	14,798	43,172	1,797	1,558	334	61,662	—	61,662
セグメント間収益	5,578	6,012	—	34	85	11,711	△11,711	—
合計	20,377	49,184	1,797	1,593	420	73,373	△11,711	61,662
セグメント利益 (△損失)	273	8,585	39	89	△48	8,938	△31	8,907
その他の収益・費用 (純額)	—	—	—	—	—	—	—	625
営業利益	—	—	—	—	—	—	—	9,533
金融収益・費用 (純額)	—	—	—	—	—	—	—	△74
税引前利益	—	—	—	—	—	—	—	9,459
その他の項目								
減価償却費及び償却費	670	758	36	49	0	1,516	△11	1,505
セグメント資産	21,929	45,303	4,389	1,114	432	73,168	6,109	79,278
資本的支出	465	1,982	281	37	0	2,766	—	2,766

(注) 1. セグメント利益は売上収益から売上原価および販売費及び一般管理費を控除して算定しております。

2. セグメント利益の調整額△31百万円は、未実現利益の調整等であります。

3. 減価償却費及び償却費の調整額△11百万円は、未実現利益の調整等であります。

4. セグメント資産の調整額6,109百万円には、全社資産11,788百万円、セグメント間の連結調整の影響額△5,678百万円が含まれております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	中国	インド	韓国	その他	計		
売上収益								
外部収益	23,249	64,656	2,765	1,796	706	93,174	—	93,174
セグメント間収益	12,412	13,051	3	60	76	25,605	△25,605	—
合計	35,662	77,707	2,769	1,856	783	118,779	△25,605	93,174
セグメント利益(△損失)	2,146	15,862	20	173	3	18,207	△252	17,955
その他の収益・費用(純額)	—	—	—	—	—	—	—	905
営業利益	—	—	—	—	—	—	—	18,860
金融収益・費用(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△83
税引前利益	—	—	—	—	—	—	—	18,776
その他の項目								
減価償却費及び償却費	661	1,031	75	56	0	1,825	△9	1,815
減損損失	—	—	156	—	—	156	—	156
セグメント資産	29,581	67,365	6,077	1,714	673	105,412	△1,651	103,761
資本的支出	244	2,520	483	27	—	3,276	—	3,276

- (注) 1. セグメント利益は売上収益から売上原価および販売費及び一般管理費を控除して算定しております。  
 2. セグメント利益の調整額△252百万円は、未実現利益の調整等であります。  
 3. 減価償却費及び償却費の調整額△9百万円は、未実現利益の調整等であります。  
 4. セグメント資産の調整額△1,651百万円には、全社資産9,206百万円、セグメント間の連結調整の影響額△10,857百万円が含まれております。

(3) 地域別に関する情報

非流動資産の地域別内訳は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
日本	3,773	3,343
中国	9,354	12,162
インド	1,238	1,619
韓国	117	91
その他	4	3
合計	14,489	17,221

- (注) 非流動資産は、資産の所在地によっており、金融商品、繰延税金資産及び退職給付に係る資産を含んでおりません。

(1 株当たり情報)

(1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	4,917	9,486
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 (百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	4,917	9,486
加重平均普通株式数 (千株)	51,655	49,410
基本的1株当たり当期利益 (円)	95.21	191.99

(2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	4,917	9,486
当期利益調整額 (百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	4,917	9,486
加重平均普通株式数 (千株)	51,655	49,410
普通株式増加数		
新株予約権 (千株)	1,178	1,031
希薄化後の加重平均普通株式数 (千株)	52,833	50,441
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	93.08	188.07



(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足説明資料

(1) 海外売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
中国	42,393	62,943
アジア	8,323	13,372
米国	3,357	4,724
欧州	1,459	3,388
海外売上収益	55,532	84,430
売上収益	61,662	93,174
海外売上収益比率 (%)	90.1	90.6

(注) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 連結販売実績

主要な製品ラインによる収益の分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	日本	中国	インド	韓国	その他	合計
主要な製品ライン						
自動旋盤	10,876	37,468	1,738	1,500	225	51,810
研削盤	901	1,570	—	5	10	2,489
マシニングセンタ・転造盤・専用機	914	3,156	10	5	8	4,096
その他	2,104	976	47	47	89	3,265
合計	14,798	43,172	1,797	1,558	334	61,662

(注) 主要な製品ラインのその他には、部品、サービス等が含まれております。

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	日本	中国	インド	韓国	その他	合計
主要な製品ライン						
自動旋盤	18,378	56,174	2,620	1,722	609	79,504
研削盤	1,070	2,834	40	—	—	3,945
マシニングセンタ・転造盤・専用機	1,235	4,171	27	—	1	5,435
その他	2,565	1,476	76	73	96	4,288
合計	23,249	64,656	2,765	1,796	706	93,174

(注) 主要な製品ラインのその他には、部品、サービス等が含まれております。

(3) 新任役員候補 (2022年6月22日予定)

・新任代表取締役

百谷 淳一 (ひやくや じゅんいち)

新役職 代表取締役 (財務部門担当)

山田 基 (やまだ もとい)

新役職 代表取締役 (人事・総務部門担当)

以 上